

日本音楽知覚認知学会 令和元年（2019年）第2回理事会 議事録（案）

日時：令和元年（2019年）11月9日（土曜）午前10時03分～11時33分

場所：八戸工業大学メディアセンター

参加者（敬称略） 小川容子、谷口高士、津崎実、西村明、森下修次、松永理恵、松本じゅん子、松井淑恵、正田悠、安井希子、（幹事）岡野真裕

議事進行： 小川会長

協議事項

1. ICMPC16th with APSCOM2021 について：津崎副会長

津崎副会長（APSCOM 渉外担当）から、2021年8月23日～27日に日本がホストとなってICMPCを開催することになった経緯、APSCOMとの共催を明確にするため大会名をICMPC16th with APSCOM2021とすること、大会までの主なスケジュール、プログラム関連の原則、査読検討事項などの説明があった。その上で、ICMPC16th組織委員会の立ち上げ、組織委員会委員長として川上理事（会場担当）および三浦理事（渉外担当）の両名、プログラム委員長として高橋理事、同副委員長として津崎副会長が提案され、承認された。

その後、谷口副会長から、ICMPC16th組織委員会規約案および予算案が報告された。規約では、日本音楽知覚認知学会がICMPC16thの引き受け母体であり、本学会の理事会で組織委員会委員長を決定すること、組織委員会の下にプログラム委員会および当日の実行委員会を位置づけること、ICMPC16th組織委員会がAPSCOM2021の組織委員会を兼ねることなどが説明された。

以上を受けて、小川会長から、組織委員会のその他の委員については、委員長に一任することが提案され、了承された。

2. 令和2年度春季研究発表会、および秋季研究発表会について：谷口副会長

谷口副会長から、令和2年度春季研究発表会は、松永理恵理事を世話役として、2020年6月6日～7日に神奈川大学で開催されることが報告され、承認された。

3. 「音楽知覚認知研究」の投稿規定改訂について：西村理事

西村理事（編集委員長）から、「音楽知覚認知研究」の投稿規定について、査読のしやすさを考慮して表や図・写真を本文中に位置づけるようにするための改定案が提出された。原案に対して表記方法に関する修正意見や、写真の肖像権への配慮の必要性について項目を追加する提案が出されたため、改めて理事会メーリングリストに修正改定案を上げることになった。

4. その他 特になし

報告事項

1. 30周年記念出版について：星野悦子編集代表→（代理）小川会長

小川会長より、10月末に最終校正が終わり、12月末に出版の予定であることが報告された。

2. 令和元年度春季研究発表会研究選奨授賞者、およびポスター発表選奨授賞者について：三雲・小堀理事→（代理）正田・松永理事

正田理事より、令和元年度（2019年度）春季研究会の研究選奨は、研究選奨選考委員長（岩宮監事）および他3名（計4名）の委員による厳選な検討の結果、授賞該当者なしとなったことが報告された。

また、令和元年度（2019年度）春季研究会のポスター選奨は、近藤聡太郎・橋亮輔・岡ノ谷一夫（東大）「多義的な拍子喚起刺激の知覚」に授賞したことが報告された。

3. 令和元年度秋季研究発表会 研究選奨選考委員の委嘱について：三雲・小堀理事→（代理）正田・松永理事

正田理事より、委員長（山崎理事）+他3名（計4名）に研究選奨選考委員を委嘱したことが報告された。

4. 論文賞選考：三雲・小堀理事→（代理）正田・松永理事

正田理事より、論文賞の選考対象論文は、第23巻（第1号、第2号）・第24巻（第1号、第2号）の原著論文4件であり、委員長（岩宮監事）+他5名（計6名）に論文賞選考委員を依頼したこと、表彰は令和2年度（2020年度）春季研究会となることが報告された。

5. 「音楽知覚認知研究」の発刊と今後の予定について：西村理事

西村理事（編集委員長）より、「音楽知覚認知研究」第25巻1号が発刊されたこと（原著1、資料2、解説1）、第25巻2号の編集作業中であることが報告された。

6. RILM への対応：川上事務局長→（代理）西村理事

西村理事より、RILM から2018年に音楽知覚認知研究の論文売り上げが25ドルあったとの連絡が来たが、免税団体証明の書類作成費や送金手数料が高額であるなどの説明があり、受け取らないという選択肢もあるなどの議論が行われた。進展があれば再度報告することとなった。

7. その他

小川会長より、理事会議事録を会長や副会長が作成してきたが、次回から出席している理事にお願いしたい旨が提案され、了承された。